

西神ニュータウン研究会 会報

第252号 2025年11月

■第252回例会（見学会）記録

- ・日 時 2025年10月25日（土） 13:00～15:40
- ・場 所 西神中央（糺台～狩場台）
- ・参 加 12 名
- ・テーマ タウンハウスの今を見る
- ・説明者 大塚 映二（西神ニュータウン研究会世話人）

□概要

実施コース



○西神2団地



★：建て替えられた住宅

★：増築している住宅

・・・かなり多いと感じた。

・もともと二戸タイプで戸建て感覚に近いこともあり、建て替えられた住宅をみてもそれほど違和感はないものが多い。

・「ポートピア花壇」があちこちにある。



○西神1団地

南側が「和風タウンハウス」、北側が「洋風タウンハウス」



- ・どちらも建て替えられた住宅は多くない。(連棟建てなので個別建て替えがしにくい)
- ・和風の建替え後の住宅には違和感を感じる。
- ・洋風はそれほどでもない。
- ・個別に屋根と外壁を塗り替えているのが見られた。



○西神11団地、西神12団地

- ・個別建て替えも見られたが、それほど目立ってはいないと思われる。
- ・通り抜けがしにくい道路の形状で、初めて訪れると出られそうにない。



○ホープタウン狩場台、マイコート狩場台

- ・住宅はすべて戸建てとなっており、建て替えも数戸見られたが特に気になるほどではない。
- ・数戸から十戸くらいのまとまりでコモンスペースが設けられているが、うまく活用されているようには思えなかった。



○西神8団地

- ・建て替えは1戸のみ。ちょっと浮いている。
- ・全体としてきれいに維持管理されているようだ。



□参加者の感想 (NPOかりばの佐野さんのご厚意により、お茶をいただきながら感想会ができました。感謝)

○実際に見て、様々なタイプのタウンハウスがあることがわかってよかった。

○タウンハウスの場合、個別に建て替えるのはむずかしいと感じた。個人の自由だとも言えるが、家並みの統一感が乱れているのは気になった。何らかのルール(まちづくり協定など)がいるのでは。

○連棟建ての場合、棟としてまとまって壁の塗り替えや大規模修繕するのはむずかしそうだ。

○開発者・設計者の意図を理解し、それをどう住み熟すか居住者共通の思いになればいいと思う。

○建て替えが許容されることで世代交代が進んでいる面もある必要があるかな。

○コモンスペースが使い切れていないと思う場所が多かった。もったいない。

○共用部分の維持管理をうまくやればもっといい空間になると思う。

(文責 大塚)

ヴィンテージタウンをめざして～まちを住み熟(こな)す～

西神ニュータウン研究会

<http://seishin-ntken.net>